

平成28年10月14日

平成28年度 第2回進路説明会資料

〈時 間〉13:30～15:00

〈場 所〉体 育 館

目 次

1. 進路決定に向けて.....	1～2
2. 進路決定までの今後の予定.....	3
3. 私立高校入試について	
(1) 私立高校の受験区分.....	4
(2) 私立高校は県内に限らず何校でも受験できる.....	5
(3) 入試相談制度.....	5
(4) 推薦入試（前期入試）について.....	6
(5) 後期選抜（一般入試）について.....	6
(6) 2次募集について.....	6
(7) 通信制高校について.....	7
4. 公立高校（県立・市立）入試について	
(1) 「前期入学者選抜」について	7～9
(2) 「後期入学者選抜」について	9～11
(3) 「2次募集」など	12
5. その他の学校について.....	13
6. 志望校決定の注意.....	13～14
7. 進路事務について.....	14～15
8. 今後の進路指導について.....	15～16
9. 千葉県立高等学校入学者選抜の変更点.....	16
10. 県立高校入学者選抜における学力検査の実施教科及び出題方針について.....	17～18

印西市立原山中学校

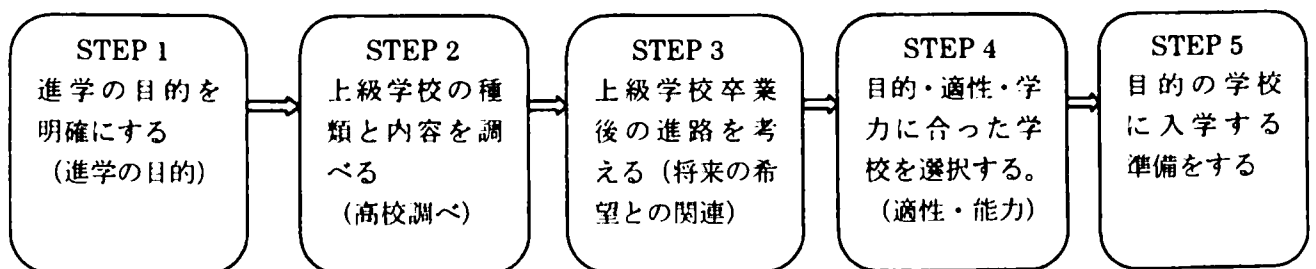
年 組 氏名

1. 進路決定に向けて

いよいよ中学校卒業後の進路を選択し、決定していく大事な時期を迎えました。また、これまで一生懸命勉強してきたことや、学校生活で努力してきたことの成果が出てくる時期でもあります。しかし、この時期は進路の最終決定に向けて、子どもたちの気持ちが大きく揺らぐ時期でもあります。また、将来を不安に思い、様々な悩みを抱えて日々生活しているのではないかと思います。自分を信じてそれらの壁に立ち向かえるように家庭や学校で支えていきたいと思います。

子どもたち一人ひとりが希望の進路に向けて学習面、生活面とも充実した日々を送れることを願っています。

さて、これまでの進路学習では、将来の見通しをもった学校選びができるように下の図のステップで上級学校を考えてきました。今後の第3回進路希望調査（受験志望校確認書）には具体的受験校と受験パターンを記入していただくことになりますが、その際、5つのステップを踏まえた進路選択を考えるようお願いします。「なぜ、その学校なのか」「その学校はどのような学校なのか」「その学校に入学したらどのような学校生活が予想されるか」など、入学後の生活を考慮して「自分（我が子）にとってのよい学校」選びになることを祈っています。



保護者と本人との十分な話し合いを！

- ・「自主性を大切にする」との理由で本人任せにしていないか。
- ・保護者の価値観を押し付けていないか。(押しつけではなくアドバイスをお願いします。)
- ・昔のイメージや世間の風評で高校を見ていないか。

3年生の皆さんへ

中学校生活も残すところあと半年となりました。3ヶ月後には入試が始まります。これまでの学習の成果や、学校生活で努力してきたことの成果が発揮されるときでもあります。これからは、テストなどの結果をもとに自分の苦手な教科や弱点を把握し、その克服に努力を注いだり、過去に出題された入試問題を解いたりするのもよいでしょう。

いずれにしても地道な努力を続けることが自信につながります。生活面でも同じです。たとえば、「面接試験のときにきちんとできていればいいや」などと、普段の生活の中でできていないことをその時だけやろうとしても、どこかボロが出てしまうものです。

しかし、「今からではもう遅い」「もうだめだ」などと諦めたりすることはありません。まだ、時間はあります。これからの可能性を信じ最後まで努力を続けてください。

今からすべきこと

★もう一度確認したい高校の選び方

- ポイント① なぜその進路（高校）を選ぶのか。そこで何をするのか。（目的・展望）
- ポイント② 自分に合っているか。（適性・性格）
- ポイント③ 3年間通いきれるか。部活動はどうするか。（距離・体力）
- ポイント④ 鶏口と牛後、どちらを選ぶか。（学力）
- ポイント⑤ 誰が進学するのか。（自己決定）
- ポイント⑥ 高校卒業後はどうするか。（将来の進路）
- ポイント⑦ 経済面はどうか。（学費など）

★具体的には…

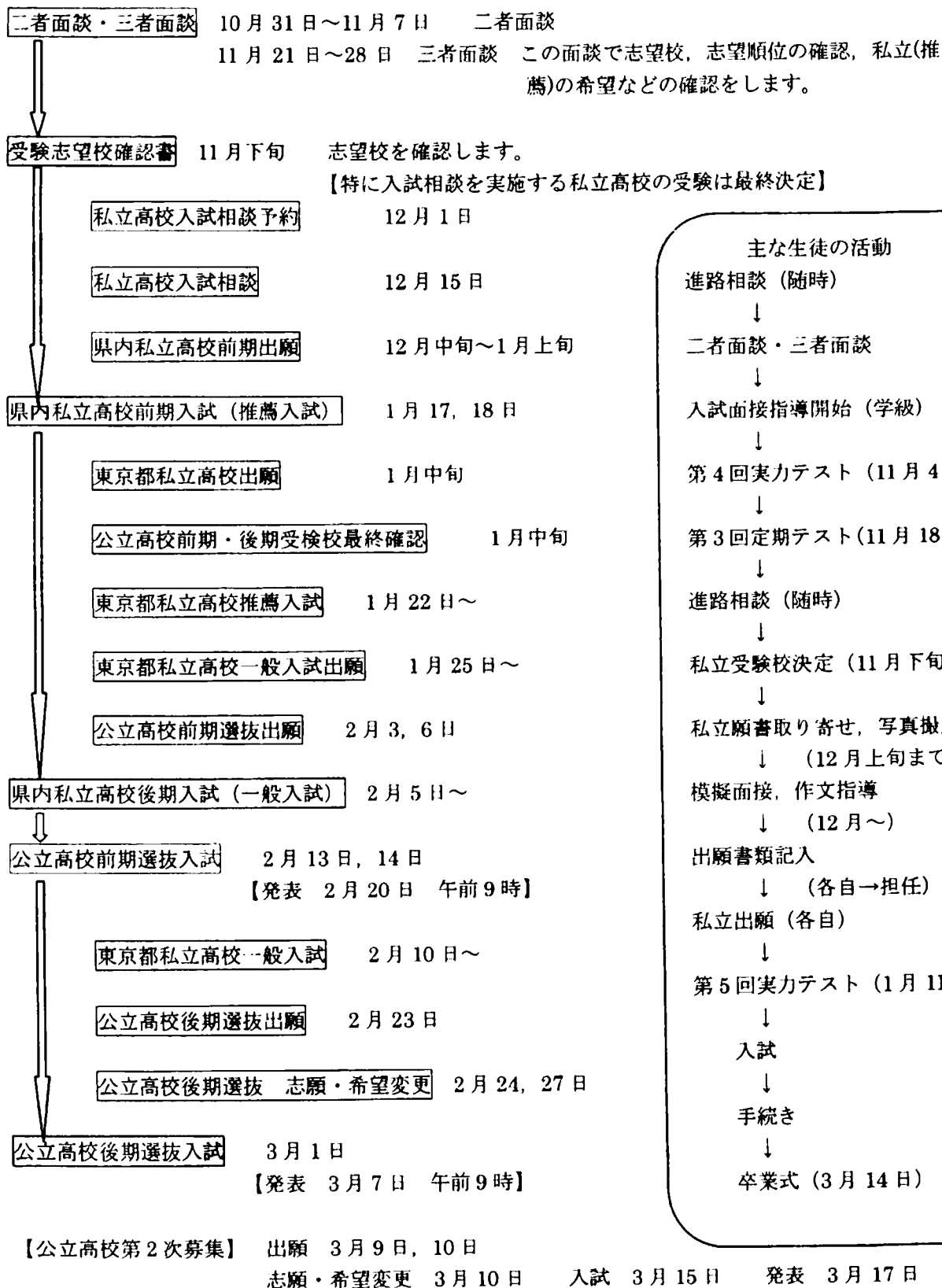
進学先に何を求めているのかを明確にする

- ・将来の夢や希望に近いものか。
- ・勉強する内容が自分の興味関心に近いものか。
- ・部活動や行事などは魅力のあるものか。
- ・自分の個性や能力を伸ばすことができるカリキュラム、施設を備えているか。

現実的に考える

- ・希望校について綿密な情報収集をしているか。
- ・通学時間や学費に無理はないか。
- ・希望校に入学でき、卒業するまで継続できる学力が身についているか。
- ・希望校に入学でき、卒業するまで継続できる努力をしているか。

2. 進路決定までの今後の予定



3. 私立高校入試について

★近年の傾向

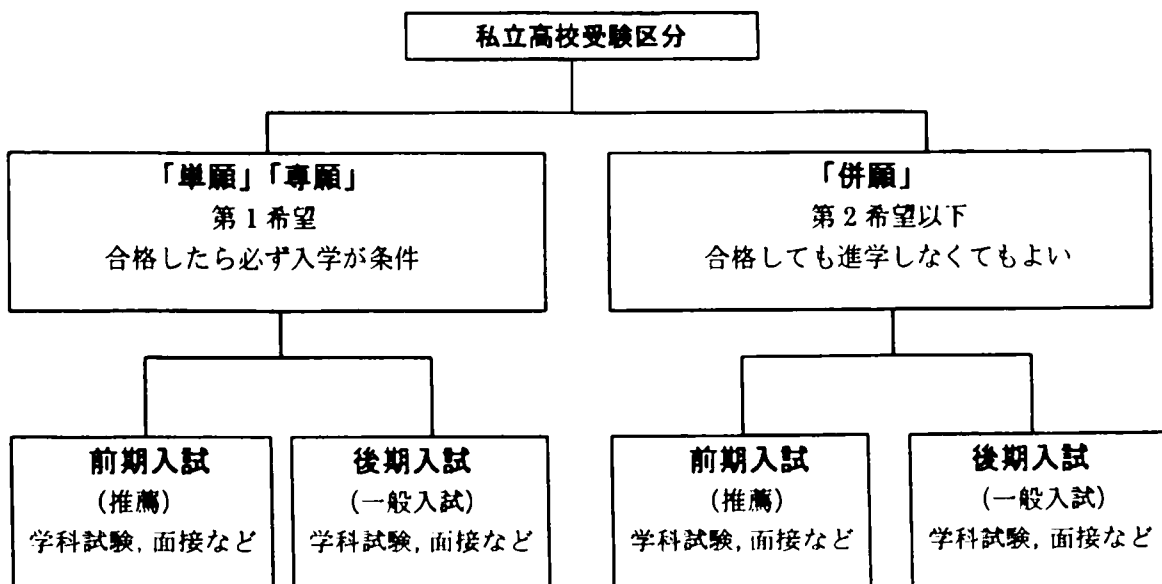
公立高校より早い時期に生徒を集めようとするので、前期入試枠で多数の合格者を出す傾向があります。私立高校の前期選抜（本校でも例年多くの生徒が前期選抜を受験）を受験する場合は、12月中旬から年明けすぐの出願となるので早めの準備が必要です。また、学校独自の入試方法を取り入れている私立高校が増えており、その学校の入試システムを十分に理解して志願することが大切です。

◎私立高校受験を考える際には…

- ・ 設置コース、クラスを考える（難関大学への進学を目指す特進クラスなどの設置など）
- ・ 入試相談の有無（単願または専願推薦、併願推薦）
- ・ 受験日の確認（前期入試だけでも複数の受験日を設ける高校もある）
- ・ 試験科目を調べる（国、数、英の3教科が多いが3教科から2教科選択の場合もある）
- ・ 併願受験者の延納金の有無の確認
- ・ 高校独自の奨学金制度
- ・ 就学支援金の支給
- ・ 後期入試を実施しない学校の増加

（1）私立高校の受験区分

- ・ 「単願」：第1希望での受験。合格したら直ちに入学手続きを行います。
- ・ 「併願」：第2希望以下の受験。合格した場合、第1希望校の合格発表まで入学手続きを延期するために、延納金（20,000円～50,000円）を納める必要がある学校もあります。
- ・ 単願推薦、併願推薦ともに、「推薦」とは、その人物の学力、生活行動面を中学校長が保証するという意味です。
- ・ 併願での入試相談の場合、「第1希望校は公立でなければならない」、「第3希望では相談に乗らない」という高校もあります。



(2) 私立高校は県内に限らず何校でも受験できます

・受験日の重複に注意してください。

	前期(推薦)入試	後期(一般)入試	・受験料は15,000円～25,000円程度(多くは銀行振り込み) ・願書は高校所定のもの、または全てインターネットによる出願を実施する高校もある。調査書は公立高校のものでよい場合が多い。
千葉県内私立	1月17日	2月5日	
東京都私立	1月22日	2月10日	
茨城県私立	1月9日	1月15日	

(3) 入試相談制度について(相談予約12月1日 相談開始12月15日～)

①入試相談とは

中学校と私立高校との間で行われる入試に関する相談会です。前期選抜(推薦入試)の相談が中心ですが、後期入試(一般入試)について行う学校もあります。高校側は基準値(1学期、または2学期の通知表の教科評定値の5教科または9教科の合計値)を設け、受験希望者の成績がその基準値に達しているかどうかで判定します。相談の結果が良い場合は、多くの場合入試結果もよい結果となっています。この制度を利用することで、安心して本番の入試を迎えることができると言えます。また、入試相談を実施する高校を受験する場合、いわゆるフリー受験(入試相談を経ない受験)は不利になることが多いようです。

②入試相談を申し込む時期

今年度入試相談は、予約が12月1日(火)から、相談が12月15日(火)から始まります。受験希望者名簿を作成して高校に提出する関係上、11月下旬の受験希望校確認調査の時には、受験の有無を確定しておかなければなりません。

11月の三者面談では、入試相談を実施する高校を受験するかどうかを中心に話を進めていく予定です。

③注意点

(1)入試相談はその高校を受験することを前提として行います。ただし、相談結果がよかったからといって合格を確約するものではありません。

(2)受験を取りやめる場合

直ちに高校に出願取り消しや受験の取り消しの連絡をしなければならないので、至急学級担任へ必ず文書でお伝えください。

入試相談を実施する高校

八千代松陰、千葉英和、秀明八千代、東京学館、東京学館船橋、流通経済大学付属柏、二松学舎柏、柏日体、我孫子二階堂、不二女子、東葉、中央学院、国府台女子学院、千葉商科大学付属昭和学院、聖徳大学付属女子、東海大浦安、東京学館浦安、千葉黎明、東洋大学付属牛久江戸川学園取手、江戸川女子

入試相談を実施しない高校

日大習志野、専修大松戸、芝浦工大柏、渋谷幕張、東邦大東邦、千葉日大一、麗澤、市川、成田

(4) 推薦入試（前期選抜）について

推薦の種類

単願推薦	合格したら必ずその学校に入学する
併願推薦	主に公立高校を第一希望とし、私立の中ではその学校を第一に考えている受験生に対する制度。私立高校が第一希望でも可としている学校もある。
学校推薦	中学校長が推薦することで行われる試験。基準値を超えていればほぼ間違いなく合格になる場合が多い。
自己推薦	学力検査を実施することが多い。自分をアピールする力が必要。不合格者が多く出る場合がある。

★私立高校の推薦入試の考え方には2種類あります。

①「推薦基準を超えている場合はほぼ合格」という考え方

- ・入試相談を行い、中学校側からの日頃の生活や行動に問題がなく、成績も推薦基準値を超えていることを確認します。
- ・入試では学力試験だけではなく面接を実施し、人物を重視する高校もあります。
- ・成績は通知表の3教科（国・数・英）や5教科（国・社・数・理・英）または9教科の成績を基準としています。同一高校でも学科やコース、単願か併願かによって基準値に違いがあります。
- ・併願の場合、基準値は希望順位によって変わることがあります。
- ・基準値を募集要項や説明会で公表している高校と公表していない高校があります。

②「推薦基準は受験資格」という考え方

- ・入試相談は実施せず、受験資格として基準値を設定している高校があります。
- ・学力試験の結果次第で可否を決定。第一希望の場合は過去に出題された問題を徹底的に研究し、傾向をつかむことが重要です。

(5) 後期選抜（一般入試）について

- ①入試相談を実施する学校では、入試相談で受験の意思を示している方が圧倒的に有利です。
- ②第一希望（単願・専願）であれば有利に扱ってくれる学校もあります。
- ③当日の試験結果が重視されるので、しっかりと実力をつけておかなければなりません。
- ④募集人数はごく少数で、後期選抜自体を廃止した高校もあります。

(6) 2次募集について

公立高校合格発表日（3月7日）以降、入試を実施する高校があります。全ての高校で行うわけではありませんし、募集人員も若干名です。すでに他校に合格している場合は受験できません。

（参考）昨年度の状況 千葉県全体で通信制を含め24校 近隣の実施校（全日制）

高等学校名	学科	男女共学の別	所在地	募集人員	試験教科及び面接の有無
我孫子二階堂	普通	共学	我孫子市	若干名	国数または国英 面
東京学館船橋	普通	共学	船橋市	若干名	国数英 面
東京学館	普通	共学	酒々井町	若干名	国数英 面
聖徳学園付属女子	普通	女子	松戸市	若干名	国数英 面
	音楽				国英・音楽実技 面

(7) 通信制高校について

主な特徴 ・「いつでも どこでも 自分のペース」で学習できる。

・自分に合った登校スタイルで学習できる。

例：週1～3日コース，平日コース，土曜コース，集中スクーリングなど

千葉県内の私立通信制高校

○あずさ第一高等学校（野田，柏，千葉に学習センター）

○東葉高等学校（船橋市飯山満） ○中山学園高等学校（船橋市本町）

○明聖高等学校（千葉市中央区）

○わせがく高等学校（西船橋，柏，勝田台などに学習センター）

4. 千葉県公立高等学校（県立・市立）適性検査について

(1) 前期選抜

1. 選抜枠

①中学校卒業見込みの者のほか，卒業生も志願できます。

②全ての公立高校の普通科及び普通科を改編した総合学科(全日制，定時制とも)で定員の30%以上60%以内，専門学科の50%以上100%以内で実施します。

③定員 普通科はほとんどの高校で上限の60%

例：定員320名（40名×8学級）の場合，「前期選抜」で定員の60%を募集すると

$320 \times 0.6 = 192$ （名）となります。

2. 検査内容

①第1日目（平成29年2月13日）県下一斉に同一条件（同一問題）で実施

区分 期日	教 科	時 間	配 点
2月13日（月）	国語・数学・英語・理科・社会	各教科50分	各教科100点

☆国語は放送による聞き取り検査，英語は放送によるリスニングテストを含みます。

②第2日目（平成29年2月14日） 下記の検査のうち，一つ以上の検査を実施

面接	学習活動や学校生活に対する意欲・関心，あるいは一般常識を問う。
集団討議	複数の受検者に対して同一のテーマを与えて自由に討論させる。
自己表現	一定の時間内に受検者があらかじめ提出したテーマに沿って発表する。
作文	指示された題名をもとに文章を作成する。
小論文	ある文章を与え，その全体または一部について問い，受検者の考え方を見る。
適性検査	学校，学科の特色に応じて行う実技などの検査。運動能力に関する検査や各高校が指定する内容に関する検査を行う。
その他	口頭による学習内容の検査。集団に課題を与えて活動を観察する検査。

3. 検査日程

第1日(2月13日 (月))		第2日 (2月14日 (火))	
時 間	検 査 等	時 間	検 査 等
8:45	集 合	8:45	集 合
8:45～8:55	受付・点呼	8:45～8:55	受付・点呼
8:55～9:10	注意事項伝達	8:55～9:10	注意事項伝達
9:20	検査室着席完了	9:25～	検 査
9:25～10:15	国 語	※第2日の検査の時間等については、各高等学校が別に定める。	
10:30	検査室着席完了		
10:35～11:25	数 学		
11:40	検査室着席完了		
11:45～12:35	英 語		
12:35～13:20	昼食・休憩		
13:25	検査室着席完了		
13:30～14:20	理 科		
14:35	検査室着席完了		
14:40～15:30	社 会		

4. 出願手続き及び日程

①出願書類等

入学願書等一式	志願者本人が記入します。写真2枚(縦4cm×横3cm)保護者氏名と押印は保護者の方をお願いします。
志願理由書	必要な学校のみ。志願者本人が自筆で作成後、保護者が押印します。
調査書	担任が作成します。
返信用封筒	長形3号の封筒に82円切手を貼付。志願者の住所、氏名、郵便番号を表書きします。
検査料	千葉県立高校は『千葉県収入証紙』を願書に貼付します。 全日制：2,200円 定時制・通信制：950円 ☆船橋市立、習志野市立、柏市立は2,200円を現金で納める。松戸市立は松戸市の納付書を提出する。千葉市立は千葉市の収入証紙を添付する。
自己申告書	「欠席が多い理由(年間30日以上)」または「障害があることによって生ずる事柄等」について説明しようとする者が作成します。原則とし志願者が記入し、封をします。

・その他証明書等(必要な場合のみ)

②日程(前期選抜)

出願期間 平成28年2月3日(金)及び2月6日(月)

受付期間は、2月3日(金)は、午前9時から午後4時30分まで、2月6日(月)は、午前9時から午後4時までとする。なお、送付の場合も、2月6日(月)午後4時までに必着とする。

- ・検査日時 2月13日(月)、14日(火) 午前8時45分 各高等学校に集合
- ・結果発表 2月20日(月)午前9時 各高校で掲示による発表
- ・入学確約書提出 2月22日(水)正午までに各高等学校へ提出
- ・入学候補者の発表 3月7日(火)午前9時 各高校で掲示による発表

③その他

- ・「入学確約書」を提出しない者が、平成 28 年 2 月 17 日（金）正午までに志願取り消しの手続きをせず、入学許可候補者に内定した者として発表された場合は、県の内外を問わず他の公立高校に出願ができなくなります。また、千葉県公立高等学校の「後期選抜」にも出願できません。
- ・前期選抜で不合格の場合は、「後期選抜」でどの公立高校に出願してもかまいません。

5. 選抜方法

調査書、志願理由書等の書類審査、学力検査の成績及び各高等学校において実施した検査の結果を資料として能力、適性等を総合的に判定して可否を決定します。

※各高校は前期選抜・後期選抜ともに「選抜・評価方法」を具体的に示すよう義務付けられています平成 28 年度の「選抜・評価方法」（予定）は各高校の Web ページに 10 月下旬以降に掲載されますので参考にしてください。

調査書の評定については、次の算式 1 で算出した数値を選抜の資料とする。

$$\text{算式 1} \quad x + \alpha - m$$

x …調査書中の 1 年生～3 年生、9 教科の合計（135 点満点）

α …95 県が定める評定合計の標準値

m …1 年生～3 年生、9 教科の評定合計値 x の中学校平均値

6. その他

平成 28 年度からの変更点

学区	高等学校名	変更内容
1	千葉工業	平成 28 年度に「理数工学科」を設置する。
2	小金	平成 28 年度に普通科を「総合学科」に改編する。
3	東葛飾	平成 28 年度に「東葛飾中学校」を併設し、「併設型中高一貫教育校」とする。
6	成東	平成 28 年度から「単位制」を導入する。

（2）後期選抜

1. 募集人員

募集定員から「前期選抜」における入学許可候補者に内定した者の数を減じた人数となります。したがって普通科では、ほとんどの高校で定員の 40%に相当する数になります。

2. 検査内容（1 日で全て実施）県下同一、同条件（同一問題）で実施

期日	区分	教科	時間	配点
3 月 1 日（水）		国語・数学・英語・理科・社会	各教科 50 分	各教科 100 点

☆国語は放送による聞き取り検査、英語は放送によるリスニングテストを含みます。

3. 検査日程

3月1日 (水)	
時 間	検 査 等
8:45	集 合
8:45～8:55	受付・点呼
8:55～9:05	注意事項伝達
9:10	検査室着席完了
9:15～9:55	国 語
10:07	検査室着席完了
10:10～10:50	数 学
11:02	検査室着席完了
11:05～11:45	英 語
11:45～12:30	昼食・休憩
12:32	検査室着席完了
12:35～13:15	理 科
13:27	検査室着席完了
13:30～14:10	社 会
14:25～	※面接等各高等学校が必要に応じて実施する検査は、別に定める。

4. 出願手続きおよび日程

①出願書類等

入学願書	志願者本人が記入します。写真2枚(縦4cm×横3cm)保護者押印
志願理由書	必要な学校のみ。志願者本人が自筆で作成後、保護者が押印します。
調査書	担任が作成します。
返信用封筒	長形3号の封筒に82円切手を貼付。志願者の住所、氏名、郵便番号を表書きします。
検査料	千葉県立高校は『千葉県収入証紙』を願書に貼付します。 全日制：2,200円 定時制・通信制：950円 ☆船橋市立、習志野市立、柏市立は2,200円を現金で納める。松戸市立は松戸市の納付書を提出する。千葉市立は千葉市の収入証紙を添付する。
自己申告書	「欠席が多い理由(年間30日以上)」または「障害があることによって生ずる事柄等」について説明しようとする者が作成します。原則とし志願者が記入し、封をします。

- ・三部制定時制(松戸南、生浜)を志願する者は志願理由書、得点に倍率をかける教科の申告書を提出する。
- ・その他証明書等(必要な場合のみ)

②日程(後期選抜)

出願期間 平成29年2月23日(木)

受付期間は、2月23日(木)は、午前9時から午後4時30分までとする。

なお、送付の場合も、2月23日(火)正午までに必着とする。

- ・ 志願または希望変更 2月24日（金）及び2月27日（月）
 受付期間は、2月24日（金）は、午前9時から午後4時30分まで、2月27日（月）は、午前9時から正午までとする。なお、送付の場合も、2月25日（木）正午までに必着とする。
- ・ 検査日時 3月1日（水） 午前8時45分 各高等学校に集合
- ・ 結果発表 3月7日（火）午前9時 各高校で掲示による発表
- ・ 入学候補者の発表 3月7日（火）午前9時 各高校で掲示による発表。このときが「前期選抜」の正式な発表になります。入学許可候補者には郵送にて選抜結果等書類送付があります。

5. 選抜方法

- ・ 調査書の1年生から3年生までの評定（9教科5段階、各学年45点満点、3年間で135点満点）と3年間の活動記録及び学力検査の得点（500点満点）、面接等各高等学校が実施した検査等を資料として、能力、適性を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

<具体的には概ね次のようになります>

- ・ 次の①～③までの条件に当てはまるものを「A組」として入学許可候補者（合格者）とします。
 - ①調査書の評定を算式1で求めた数値によって順位をつけた時、募集定員（または受検者）の80%以内にあること。
 - ②学力検査の得点合計によって順位をつけた時、募集定員（または受検者）の80%以内にあること。
 - ③調査書の記載内容、学力検査の各教科の得点及び面接等各高等学校が必要に応じて実施した検査の結果等に、特に問題となる点がないこと。
- ・ 「A組」に属さない者を「B組」として次の算式2によって求めた数値と調査書の記載内容を資料とし、他の者の資料と比較検討した上で、総合的に判断します。

$$\text{算式2} \quad y + k \times z$$

y…学力検査の5教科の得点合計（500点満点）

k…各高等学校が定める1以上の数値

z…算式1で求めた数値

- ・ 理数系、外国語及び国際関係に関する学科については、数学、理科、英語等の教科に1.5～2.0倍の傾斜配点をした上で選考を行います。

学 校 名	課 程	学 科	教 科	得点にかける倍率
県立船橋高等学校	全日制	理数	数学 理科	1.5 倍
松戸国際高等学校	全日制	国際教養	英語	2.0 倍
県立柏高等学校	全日制	理数	数学 理科	1.5 倍
流山おおたかの森高等学校	全日制	国際コミュニケーション	英語	1.5 倍
成田国際高等学校	全日制	国際	英語	1.5 倍
佐倉高等学校	全日制	理数	数学 理科	1.5 倍

(3)「第2次募集」など

1. 第2次募集

- ・前期選抜、後期選抜での合格者が募集定員に満たない場合、2次募集が行われます。提出書類は1次募集と同じです。

- ・出 願 3月9日（木）及び10日（金）
- ・志願または希望変更 3月13日（金）午前9時から午後4時30分まで
- ・検査日時 3月15日（水）午前8時45分各高等学校に集合
- ・検査内容 全ての高等学校で面接を実施する。他に各高等学校は「集団討論」,
「事項表現」,「作文」,「小論文」,「適性検査」,「学校独自問題」,「その他の検査」のうちから、いずれか1つを実施する。

2. 追加募集

- ・定時制の課程（三部制の定時制の課程を除く）においてのみ、第2次募集を行っても入学許可候補者が募集定員に満たない場合は、平成28年3月27日（月）又は28日（火）に追加募集を行う。

3. 地域連携アクティブスクールの入学者選抜

一期入学者選抜（前期選抜と同じ日程で実施）

二期入学者選抜（後期選抜と同じ日程で実施）

実施する高等学校 千葉県立船橋古和釜高等学校、千葉県立泉高等学校
千葉県立流山北高等学校、千葉県立天羽高等学校

4. 秋季募集

次の高校は、平成28年8月に募集を行う。

- ・県立生浜高校三部制（午前部、午後部、夜間部）定時制の課程普通科
- ・県立松戸南高校三部制（午前部、午後部、夜間部）定時制の課程普通科
- ・出願 8月17日（木）及び18日（金） 18日は午後4時まで
- ・検査日時 8月22日（火）
- ・結果発表 8月24日（木）午前10時

5. 通信制の課程（千葉県立千葉大宮高等学校通信制の課程普通科）

一期入学者選抜（日程および出願書類は前期選抜にほぼ同じ）

二期入学者選抜（日程は後期選抜、出願書類は前期選抜にほぼ同じ）

三期入学者選抜（日程は2次募集、出願書類は前期選抜にほぼ同じ）

四期入学者選抜（出願：4月4日、5日 検査：4月10日 発表：4月12日）

五期入学者選抜（出願：8月31日、9月1日 検査：9月6日 発表：9月8日）

◎検査内容：面接及び作文（一期～五期とも）

5. その他の学校について

(1) 高等専門学校

- ・特徴
大学と並ぶ高等教育機関
- ・主な学科
工業系(5年) 機械工学科, 電気工学科, 電子制御工学科, 航空工学科, 情報工学科, 建築学科など。
商船系(5年6か月) 商船学科, 電子機械工学科, 情報工学科など。
- ・大学3年次への編入も可能。

(2) 専修・専門学校

- ・特徴
就職したり, 資格を得るために役立つ技術や知識を学ぶ。
- ・主な教育内容
中学校卒業者を対象とした高等専修学校では, 情報処理技術者, 美容師, 調理師, ファッションデザイナーなど, さまざまな職業に就くための具体的な教育に重点を置いている。
- ・願書受付, 入学試験は学校により, 12月から3月までいろいろなパターンがあります。

(3) その他の教育機関

- 仕事や生活に役立つ技術や知識を学ぶ学校はたくさんあります
- ・独立行政法人による設置 (例: 海技教育機構の館山海上技術学校)
- ・事業所内訓練施設
- ・各種学校

6. 志望校決定上の注意

1) 第1希望が公立高校の場合

【2度の受検機会】

- ・前期入学者選抜で不合格になっても, 後期入学者選抜を受検することができます。
- ・前期入学者選抜で受検した学校と, 後期入学者選抜学力検査で受検する学校が異なってもかまいませんが, 受検するからには「どうしてもここに入りたい」という強い意思を持てる方がより良いと思います。
- ・前期入学者選抜で「不合格」の判定が出た場合大変なショックを受け, 立ち直りが遅れてしまうこともあります。本人の精神力の強さが問われます。

出願日程の関係で, 前期入学者選抜の結果が出る前に, 後期入学者選抜の受検校を決定しておかなくてはなりません。早めに後期の受検校を考えておきましょう。また, 今年度からほとんどの普通科以外の学科が前期選抜の合格枠を100%にしています。専門学科の受検には熟慮が必要です。

- (1) 私立高校では第3希望以下でも入試相談に応じている学校もあります。志望順位をはっきり決めて相談を受けると良いでしょう。第1希望の公立高校と第2希望の私立高校が両方とも不合格だった場合は, 必ずその学校に進学するという意味です。公立高校の結果発表まで入学手続きを待ってもらうために延納金を納めなければならない学校があります。

- (2) 第2希望の私立高校に第1希望の公立高校と同等の難易度校にした場合は第3希望でより合格の可能性が高い私立高校（入試相談を実施する高校）の受験をお勧めします。

2) 第1希望が私立高校の場合

【併願より有利】

- ・多くの場合、単願推薦基準は併願(第2希望以下)推薦基準より、単願一般入試の基準は併願一般入試の基準より低めに設定されています。
- ・入試相談のある場合は第一希望であることは、かなり有利に扱われます。

【特待生制度など調をべよう】

- ・特待生として、授業料などが免除になることがあります。

Aパターン (第1, 第2希望が私立, 第3希望が公立)	Bパターン (第2希望以下に公立)	Cパターン (公立は受検しない)
第1希望 私立〇〇高校 第2希望 私立◎◎高校 第3希望 公立□□高校	第1希望 私立〇〇高校 第2希望 公立□□高校 第3希望 私立◎◎高校	第1希望 私立〇〇高校 第2希望 私立◎◎高校

- (1) 入試日程をしっかりと確認してください。推薦入試で3日間連続で試験が続くなどとならないようにしましょう。その場合は一般入試を利用する方法もあります。第1希望の学校が合格した場合、その後の公立高校は受検しないでください。

- (2) 第1希望の学校が試験当日の学力検査の結果で決まる場合は、県立(市立)を合格の可能性が高い学校にするか、もう一つの私立受験をお勧めします。

7. 進路事務について

◎進路事務一覧

	千葉県公立高校	私立高校・その他
願書等の取り寄せ	中学校から配布します	各自で取り寄せ(12月上旬までに)
願書記入	各自で記入後担任へ提出	各自で記入後担任へ提出
写真	各自	各自
返信用封筒	中学校で用意(長形3号), 各自記入	各自
切手	各自	各自
志願理由書	必要な場合は中学校で配付, 各自記入	
自己申告書	必要な場合は中学校で配付, 各自記入	
検査料・受験料	県立高校の県収入証紙は中学校で一括購入の予定 市立の場合は各自	各自で振り込み
調査書の作成	担任が作成	担任が作成(12月22日以降)
願書提出	各自	各自
調査書提出	各自	各自
志願変更手続き	各自 保護者(中学校校長印が必要)	
合否確認	各自	各自 インターネット発表の場合は各家庭で確認
入学手続き	各自 保護者	各自 保護者

- ①公立以外の出願書類は12月上旬までに各自で用意をしてください。説明会等でもらえる場合、購入する場合などいろいろあります。早めに各高校へ問い合わせてください。

- ②願書記入の仕方は、公立用は学校でも指導しますが、公立、私立ともに記入上の注意をよく読んで保護者の方がいっしょに記入してください。訂正に修正液等は使えません。略字なども使えないので慎重に記入してください。
- ③写真は公立高校は4 cm×3 cmのサイズが2枚必要です。私立高校は募集要項の指示に従ってください。撮影の際は、服装、髪型にも十分注意してください。スピード写真は避けた方がよいでしょう。
- ④公立高校の志願理由書の記載内容は、必ずご家庭でも確認をお願いします。
- ⑤私立高校の受験料はほとんどが銀行振り込みです。振り込み用紙の領収書を貼付するなど高校によって様々です。
- ⑥調査書作成は担任が行います。一部の私立高校では高校所定の調査書用紙が必要な場合があります。作成には数日かかりますので早めに担任へ渡してください。(冬季休業中に郵送で出願が始まる私立高校の場合は12月22日に渡す予定です。)
- ⑦出願、入試、手続きは、各自が責任を持って行動してください。
- ・出願 中学(給食終了後) → 高校(出願) → 帰宅(電話で帰着報告)
 - ・入試 自宅 → 高校 → 自宅
 - ・発表 自宅(中学) → 高校 → 中学校(報告) → 授業
- (午後発表) 中学(給食終了後) → 高校(発表) → 帰宅(電話で帰着、結果報告)
- ⑧入試関連で学年の半数以上がいない日などは、特別日課や給食をカットすることもあります。(後日ご案内します。)
- ⑨「自己申告書」は志願者本人記入です。何らかの事情により保護者代筆の場合はその旨を記入します。用紙が必要な場合は担任に申し出てください。
- ⑩私立高校受験料の振り込み、入学手続き、延納手続き、場合によっては公立高校の志願変更手続は保護者の方をお願いします。
- ⑪願書提出は中学校での授業を考え、原則として学校ごとに提出日を指定たいと考えています。私立高校など提出日が複数重なることも考えられるので、保護者の方に提出をお願いすることもあります。
- ⑫合否の発表後、速やかに担任へ報告をお願いします。複数の私立高校を受験し私立高校で同日に複数校の発表がある場合は保護者の方に行っていただくこともあります。

8. 今後の進路指導について

(1) 学習面の指導

中学校の授業が大切なことは言うまでもありません。特に成績をつける上でも「学習への関心・意欲・態度」が重要視されています。入学者選抜の筆記試験の得点とは別に、普段の学習に取り組む姿勢は、社会に出て行く上で大切だと考えます。特に技能教科を受験とは関係ないからといって手を抜いたりすることのないように授業をきちんと受けさせたいと思います。また、受験期とはいえ計画的で無理のない学習をさせていただきたいと思いますのでご家庭でもご指導をよろしく願います。

(2) 健康面の指導

受験を前にすると、どうしても学習時間の確保にのみ気持ちが行きがちになりますが、健康管理が大切なことは言うまでもありません。規則正しい生活と適度な運動は気分転換にもなります。健康な生活を送るためにも体内リズムの調節は不可欠です。特に遅刻や欠席は進学、就職に影響が出ることがあります。規則正しい生活を心がけてください。

また、入試が近づいてくるとプレッシャーから精神的に追い込まれ不安定になることもあります。学校でも十分に注意していきますが、ご家庭でもお子様の様子をよく観察していくことが大切です。

(3) 生活面の指導

服装、頭髮、身だしなみをはじめ、生活・行動面の乱れは、確実に学習に影響しますので、きちんとした生活をさせていきたいと思ひます。これについては、生徒の皆さんにもぜひ自分を振り返ってほしいし、ご家庭でもご指導をよろしくお願ひします。

(4) 提出書類作成と提出期限遵守の指導

公立高校の願書、封筒の下書きを通して提出書類の作成指導を行います。なお、中学校で点検しますので、提出期日は厳守してください。1人の遅れが全体の作業に影響します。

(5) 面接の指導

面接は公立・私立高校のほとんどで実施されます。中学校でも指導しますがご家庭でも言葉遣いや服装などに注意していただきたいと思ひます。

【面接で問われる内容】

志願理由、中学校生活の様子、高校生活の抱負、高校卒業後の希望、家庭の様子、自分の性格
最近読んだ本、最近のニュースなど

9. 平成 28 年度からの公立高校入学者選抜の主な変更点

1. 新しい学科を設置した学校

県立千葉工業高校に理数工学科を設置した。

2. 普通科を改編し、総合学科を設置した学校

県立小金高校の普通科を改編し、総合学科を設置した。

3. 前期選抜等の結果発表から後期選抜の入学願書等の提出までの期間の変更

これまで1日だった期間を2日とした。

4. 前期選抜についての変更

(1) 選抜枠の範囲について

ア 普通科及び普通科を改編した総合学科の前期選抜の範囲を、30%以上 60%以内とした。

イ 専門学科及び総合学科（普通科を改編した総合学科を除く。）の前期選抜枠の範囲を、50 パーセント以上 100%以内とした。

(2) 第2希望について

前期選抜の出願に当たって、同一高校の同一課程における異なる学科について相互に前期選抜枠が100%である場合に限り、第2希望を申し出ることができることとした。

5. 選抜枠を100%と定めた学科について

ア 選抜枠を100%と定めた学科においては、入学許可候補者の内定に当たっては、募集定員の確保に努めることとした。

イ 前期選抜により、入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が募集定員を満たした場合には、後期選抜等を実施しないこととした。

6. 様式の変更

・入学願書に第2希望の欄を設けた。必要のない場合は斜線とする。

平成29年度千葉県公立高等学校入学者選抜における
学力検査の実施教科及び出題方針について

1 実施教科

(1) 前期選抜

国語、数学、英語、理科、社会(各教科50分、100点満点)

※国語の問題は、放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は、放送によるリスニングテストを含む。

(2) 後期選抜

国語、数学、英語、理科、社会(各教科40分、100点満点)

※国語の問題は、放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は、放送によるリスニングテストを含む。

2 出題方針

(1) 国語

ア 学習指導要領に基づき、3領域(「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」)の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようになる。

イ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようになる。

ウ 様々な文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力をみることができるようになる。

エ 与えられた材料について、自分の言葉で考えを適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力をみることができるようになる。

(2) 数学

ア 学習指導要領に基づき、数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようになる。

イ 多面的にものを見ることや論理的に考えることの基となる、数学の理解力をみることができるようになる。

ウ 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力をみることができるようになる。

エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力をみることができるようになる。

(3) 英語

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能を、全領域にわたり身に付けているかをみることができるようにする。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事柄を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などをみることができるようにする。
また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に発話する力をみることができるようにする。
- ウ 「読むこと」の領域では、文や句の意味についての知識だけでなく、文章の概要や要点を把握する力、筆者の意図や考え、文脈などを把握する力、文章や図表等から読み取った情報を基に判断して思考する力をみることができるようにする。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語を書く力とともに、条件作文の中で、英語を用いて自分の考えなどをまとめ、表現する力をみることができるようにする。

(4) 理科

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにする。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能並びに科学的な見方や考え方を身に付けているかをみることができるようにする。
- ウ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果などを表現する力をみることができるようにする。
- エ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し、解決する力をみることができるようにする。

(5) 社会

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにする。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようになるとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度をみることができるようにする。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにする。
- エ 社会的事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようにする。